

2023年度2学期 アメリカ政治II(庄司) 試験問題

注意：持ち込みは不許可です。

【A】、【B】、【C】すべてにこたえること。必ず【A】、【B】、【C】の順に解答を記入し、冒頭に選んだ設問の番号を【A】(1)のように書くこと。指定より多くの問題に解答した場合、【A】は冒頭の3つ、【B】と【C】については最初の1問のみ評価対象とする。解答の長さについては、【A】と【B】は指定を厳守のこと、【C】は自由とする。

【A】 以下の設問から3つ選び、今年度の授業内容に沿って、その内容や意義、重要な論点などを各問3行以内で説明しなさい。(配点各10点)

- (1) プライミングとフレーミング
- (2) 選択的接触
- (3) 接触仮説
- (4) プッシュ・ポーリング
- (5) ジャッキー・ロビンソン効果
- (6) ハント委員会
- (7) 「サービス提供者」としての政党
- (8) レーガン連合

【B】 以下の設問から1つ選び、今年度の授業内容に沿って、10行以内で答えなさい。(配点25点)

- (1) ブラックライヴズマター運動がアメリカ政治・社会、国際的な企業活動などにもたらした影響について、カラリズムの観点から論評しなさい。
- (2) 南軍旗をめぐる議論と歴史的展開について、具体例を使って論じなさい。
- (3) アメリカのスポーツにおける“インディアン”シンボルをめぐる議論とその展開について論じなさい。
- (4) アメリカのいわゆる「コロンバス・デー」について、何が争点であり、近年どう変化してきたのか論じなさい。
- (5) アメリカにおける投票用紙の歴史的変化において、解決されてきた問題と残る課題を論じなさい。
- (6) なぜアメリカには社会主義政党が育たなかったのか、重要と思われる理由をできる限りあげて説明しなさい。

**【C】 以下の設問から1つ選び、今年度の授業内容に沿って答えなさい。(配点 45 点)**

- (1) アメリカにおける主要メディア媒体の変遷、メディアの寡占化と、メディアのコンテンツを左右するアクターについて、その実態と課題を論評しなさい。
- (2) アメリカで世論調査を行うときどのようなことに注意する必要があるか、いわゆる「アジア系アメリカ人」を例にとって論評しなさい。
- (3) 2013年の最高裁判決「シェルビー対ホルダー」の内容を説明し、その影響、なかでも2020年選挙におけるトランプ陣営と共和党の行いについて論じなさい。
- (4) アメリカの大統領選挙について、本選挙と政党候補者指名過程における共通点と相違点を、歴史的に重要な事例も盛り込みながら、長所・短所、改善策も含めて論じなさい。
- (5) 利益集団はなぜどのように組織化されるのか、マディソン、オルソン、ワグナーなどの議論を説明しながら、アメリカの現状と課題を論評しなさい。
- (6) アメリカの統合原理として重要なものを歴史的な登場順に沿って5つあげ、相互の関係を明らかにしつつ、その特徴や問題を論評しなさい。

(以上)

<< 講評 >>

これまでと少し形式を変えたので、II についてのみ講評する。【A】から【C】までいずれも選択肢を増やし、学生が得意分野について回答するチャンスを提供したつもりであったが、特定の問題に選択が集中する傾向があった。そうした選択肢については、簡単だと考えて選択したのか、いい加減な記述が多かった半面、解答した学生が少なかった選択肢には優れた解答が目についた。

【A】については、短いだけに、余計な説明を長々書かず、重要なポイントを圧縮して盛り込む能力が問われている。例えば、「(5) ジャッキー・ロビンソン効果」については、①ジャッキー・ロビンソンとはだれか、②この用語につながるエピソードはどんなものか、③一般的にどのような現象を指す概念なのか、④その結果どういう問題が生じるのか(表面上どう見えるのか)、⑤アメリカ政治との関係(授業で扱った典型例)は何か、といったことを盛り込まなくてはならない。以下は解答例である。

黒人初のメジャーリーガーの名前を冠したこの現象は、差別されるマイノリティが白人(男性)世界に進出するには**抜きんでた優秀さが求められるため、進出した者だけを見るとその集団が優秀に見える**ことを指す。連邦議会で男性より**女性の業績が秀でて**いることが一例。